

平成30年 第16週 平成30年4月16日(月)～平成30年4月22日(日)



# 熊本市 感染症発生動向調査 速報 1

## ●麻しん(はしか)にご注意ください NO.1

沖縄県や、海外の一部地域(アジア、ヨーロッパ等)で麻しん(はしか)が流行しています。麻しんは感染力が非常に強く、空気感染、飛沫感染などにより感染します。麻しんの予防には予防接種が有効です。流行地域へ行く際には、予防接種を検討することをおすすめします。

流行地域などで麻しん患者と接触した可能性があり、**発熱、風邪症状、皮疹等**、麻しんを疑う症状が出た場合は、**受診前に医療機関へ連絡し、指示に従ってください**。また受診の際は自家用車等を使用し、**公共交通機関の利用を避けてください**。

受診の際は、①沖縄や流行地域での滞在歴 ②麻しん含有ワクチンの接種歴(麻しん単独ワクチン、MR(麻しん風しん混合)ワクチンなど) ③麻しん罹患歴(過去にかかったことがあるかどうか)を確認し、麻しんにかかった可能性があることを伝えてください。

【参考】ワクチン接種時期 ※学年ごとになります。

麻しん(はしか)	ワクチン接種の状況
昭和52年以前生まれ	定期接種は行われていませんでしたが、自然に麻しんに感染する世代でもあるので、免疫がある人っていない人がいます。
昭和52年～平成2年以前生まれ	定期接種を受ける対象になっていましたが、1回だけの接種となっています。麻しんの免疫が低い可能性があります。低い場合は修飾麻しんといって、自身は比較的軽い症状で済みますが、周囲に感染させてしまう恐れがありますので、もう1回接種対象者になります。
平成3年以降生まれ(平成2年4月2日～)	定期接種2回の世代です。母子手帳を確認の上、接種が行われていない場合はMR(麻しん・風しん)ワクチンを接種して下さい。

麻しん(はしか)は終生免疫のため、1度麻しんに感染した人は抗体があると思われます。

【医療機関の方へ】麻しんを疑う患者を診察した際は、直ちに最寄りの保健所へご連絡ください。

期 間		平成30年 15週		平成30年 16週	
		4/9～4/15		4/16～4/22(最新)	
疾患名 (百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました)	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		6	0.24	6	0.24
RSウイルス感染症		5	0.31	1	0.06
咽頭結膜熱(プール熱)		4	0.25	5	0.31
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		26	1.63	27	1.69
感染性胃腸炎		75	4.69	100	6.25
水痘(みずぼうそう)		0	0.00	7	0.44
手足口病		12	0.75	22	1.38
伝染性紅斑(りんご病)		2	0.13	0	0.00
突発性発しん		9	0.56	12	0.75
ヘルパンギーナ		1	0.06	0	0.00
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)		2	0.13	1	0.06
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎(はやり目)		3	0.60	9	1.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	1	0.20
無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎(オウム病を除く)		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)		4	0.80	2	0.40